

政策課題研究 1

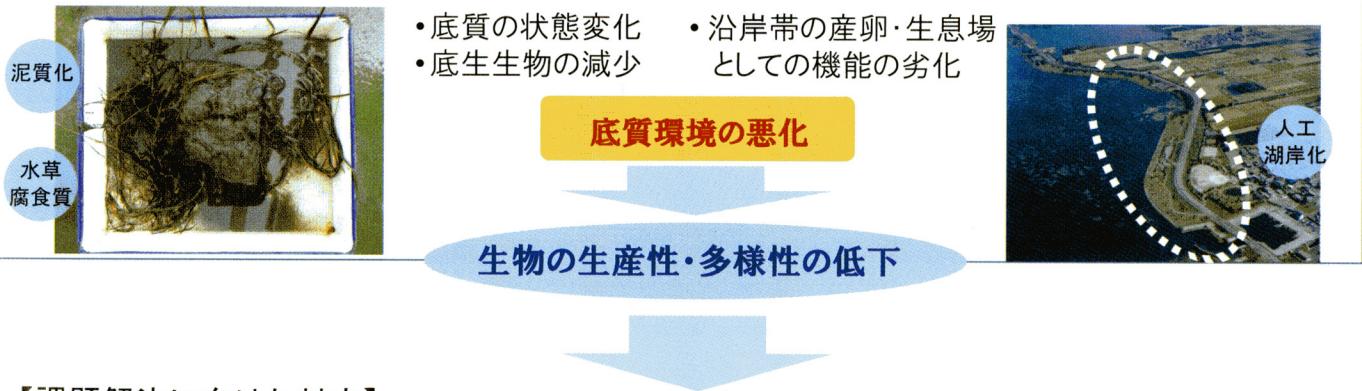
湖辺域における底質環境の評価に関する研究

南湖をはじめとする湖辺域生態系の保全・再生に向けて、在来魚介類の生息基盤である「底質環境」に着目し、豊かな生き物を育むために望ましい底質条件を示すとともに、南湖湖岸の約7割を占める人工湖岸が湖辺域の生態的機能に及ぼす影響を評価することにより、生息環境の再生に向けた沿岸帯管理のあり方を提示します。

<サブテーマ>

- ・豊かな生き物を育むための底質条件の解明
- ・人工湖岸化が沿岸帯の生態的機能に及ぼす影響評価

【現状における課題】



【課題解決に向けた対応】

① 底質現況の把握 豊かな生き物を育むための底質条件の解明

- 湖内へ流入する土砂が
底質形成等に及ぼす影響把握
- 底質・底生生物の現況把握と
望ましい底質条件の検討



雄琴川河口域



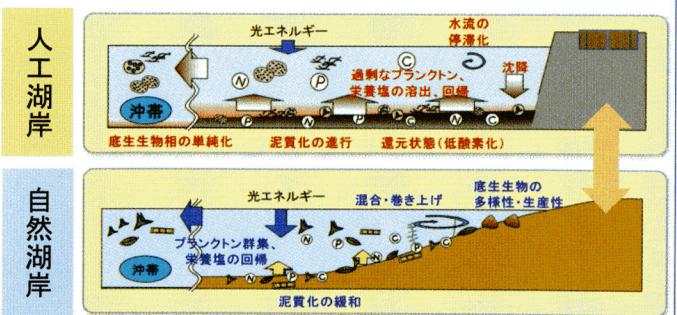
シジミ



タテボシガイ

② 人工湖岸化が 沿岸帯の生態的機能に及ぼす影響評価

- 人工湖岸-自然湖岸の比較対照調査
⇒ 人工湖岸化による環境条件の変化を把握



- 生物の多様性・生産性回復のために望ましい底質条件の提示
- 在来魚介類の生息地保全・再生の視点からみた沿岸帯管理のあり方の提示